



## 前進 小野町

小野町長 穴戸 良三

新年明けましておめでとうござい  
ます。

平成25年の年頭にあたり、謹んで  
新春を賀し新年のお喜びを申し上げ  
ます。町民の皆さまには幸多き一年  
となりますよう心からご祈念申し上  
げます。

昨年は、小野町の「復興元年」と位  
置付け、東日本大震災からの復旧復  
興へ、全力を挙げて取り組んで来た  
ところであります。町民の皆さまの  
ご支援ご協力に心から感謝を申し上  
げます。

「春來喜氣迎（はるきたりききむか  
う）」という言葉がございます。「春  
が来て、良いこともたくさん来て、  
喜ばしい気運が訪れる」という意味  
です。

新春を迎え、温かい気持ちに包ま  
れ、誰もが希望に燃える季節です。

大震災以来「絆」の大切さを身に染  
みて感じてきたところですが、公立  
小野町地方総合病院が大震災に遭っ  
て建て替えが必要になり、1円も財  
源がない状況に、手を差し伸べてい

ただいた「公益法人ヤマト福祉財団」  
のご恩は一生忘れることはできませ  
ん。

「公益法人ヤマト福祉財団」は、ク  
ロネコヤマトの宅急便の生みの親と  
して有名な故小倉昌男氏が創設した  
ものであり、東日本大震災に際し地  
域の復興再生に、総額140億円も  
の助成事業を行いました。

小野町におきましては、公立小野  
町地方総合病院の新築建て替え事業  
に助成事業1件当たりの最大限度額  
である20億円もの助成をいただくこ  
とになりました。

この事業採択の審査をお勤めにな  
られた当町出身の小泉武夫先生はじ  
め、浄財をご寄付いただいた多数の  
方々や関係者の皆さまに衷心より御  
礼を申し上げます。

平成27年1月の開院へ向けて、引  
き続き公立小野町地方総合病院の整  
備に全力で取り組む覚悟であります。

震災復興と安全安心の確保に地域  
医療はますます重要になっており、  
民間医療機関とも協力連携し、細心

の注意で町民の健康を護ります。

また右支夏井川の河川改修は、い  
よいよ町中心部の工区へ移ってしま  
すが、昨年から福島県治水協会会長  
に就任したところであり、治水行政、  
河川行政も率先して推進してまいり  
ます。

小野町は、新病院の建設や町中心  
部の河川改修などを含め、将来へ向  
けて総合的な町づくりを検討すべき  
時期にあるものと考えております。

教育環境におきましては、小野中  
学校のプール、テニスコートの復旧  
工事がすべて完了し、まったく新し  
い小野中学校が完成しました。昨年  
11月には総合落成式を挙行すること  
ができ、小野中学生の皆さんは生き  
生きと勉強やスポーツに励んでおり  
ます。昨年の夏井第一小学校特設音  
楽部の快挙に続く、小野町の子ども  
たちのますますの活躍を期待いたし  
ます。

復興に向けては、除染と風評被害  
の払しょくが、きわめて重要です。  
農業、商業、工業、観光業の復興と  
併せて大震災からの復興再生を強力  
に進めて行かなければなりません。

結びに、すべての町民の皆さまの  
ご健勝とご多幸をあらためてご祈念  
申し上げます。措辞ではあります  
が年頭のごあいさつに代えさせてい  
たきます。